

東南アジアの成長エンジン インドネシア

インドネシア特集



ジャカルタを中心にインフラ整備も進む (ビジネスインドネシア提供)



部品メーカー進出、中堅・中小も

日本で工業団地販売

最近は大企業だけでなく、中堅・中小の部品メーカーの進出も活発だ。工業団地の運営会社は受け皿づくりを急いでいる。伊藤忠商事は西ジャワ州のカラワン工業団地内に、延べ床面積3000・5000平方メートルの賃貸工場10棟を年内につくる。4・5月に賃貸工場の建設に着手し、10・11月に完成させる。賃料は正式に決まっていないが、1平方メートルが6・7ドル前後(約5000円)になる見込みだ。同社は現地の財閥企業「シナール」グループと折半出資でカラワン工業団地を開発・運営。同工業団地はジャカルタ中心地から車で約1時間の位置にあり、工業用水や電力などのインフラはすでに整っている。既存の工業団地には二輪・四輪業界を始めとした日系

企業90社が入居済み。自己1平方メートルあたり月9万7千円(約8000円)の管理料を月払いで、共有の管理棟を用意し、日本人が常駐して現地政府への許可申請手続きをサポートする。双日は中小企業のインドネシアへの工場移転を支援するための海外進出支援サービスを開始した。現地政府への複雑な許可申請手続きをサポートする。双日は、当社を活用すれば進出のリスク低減やコスト削減が可能になる。年間30件の受注を目指している。

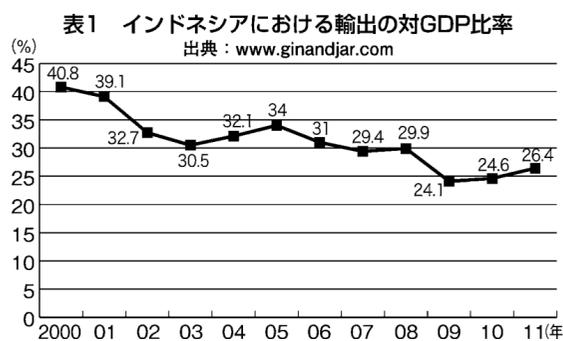
日刊工業新聞社は昨年10月にインドネシア最大の日刊総合経済紙「ビジネスインドネシア」と業務提携しました。インドネシアと「ビジネス」と提携

本に関する情報の相互発信、両国産業者の交流イベントなどを通じ、両国の経済発展に役立つ事業を展開していきます。

自動車産業中心に投資活発



旺盛な個人消費を支えられる自動車産業 (ビジネスインドネシア提供)



「インドネシアの強みは経済が輸出に依存していないことだ」。インドネシアの著名な政治家兼経済専門家のギナンジャール・カルタサミタ氏はこう断言する。2011年の輸出の対国内総生産(GDP)比率は26.4%。マレーシア(97.4%)やタイ(71.3%)に比べて圧倒的に低い。しかも輸出依存度は年々低下しており、00年には約40%だったのが、07年には30%を切り、今では20%台にとどまっている(表1)。

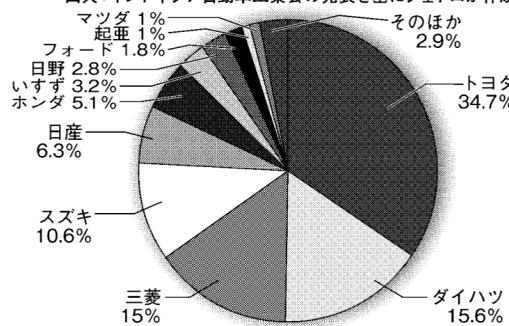
低い輸出依存度

インドネシア経済が着実に成長している。2億4000万人の消費がけん引役となり、自動車を中心に市場が急速に拡大している。日本企業も現地進出を本格化し、直接投資も活発だ。世界経済が不透明な中、右肩上がりの成長が期待できる有望市場としての存在感が一段と高まってきた。

経済発展受け消費市場拡大

表2 インドネシアの自動車販売シェア

出典: インドネシア自動車工業会の発表を基にジェトロが作成



タイを抜き販売首位

安定した経済を支えているのは個人消費の役割も大きい。11年の自動車販売台数は前年比16.9%増の89万台となり、79万台のタイを抜いて東南アジア諸国連合(ASEAN)1位に躍り出た。12年は92.95万台と予想されており、「100万台の大台が見えてきた」(ジェトロ・ジャカルタ事務所)との声もある。企業別の販売台数では、トヨタ自動車が増加した。トヨタ自動車は前年比10.7%増の31万台、ダイハツが同17.7%増の13万台、三菱自動車が増加した。三菱自動車は同26.2%増の13万台、スズキが同32.8%増の9万台、日産自動車が増加した。日産自動車は同49.7%増の5万台と、軒並み2ケタ成長を達成している。市場シェアはトヨタが34.7%、ダイハツが15.6%、三菱が

15.0%、スズキが10.6%と、日本勢が健闘している(表2)。自動車をはじめ、インドネシアの消費市場は急速に拡大していることを受け、海外から生産拡張のための投資も増加している。投資調整庁(BKPM)によると、11年の外国直接投資額は前年比20.1%増の194億ドル(約1兆6000億円)に達し、過去最高を更新した。日本からの投資は同2.1倍の15億ドル(約1200億円)で、個別シェアは10年にシンガポール、イギリス、アメリカに次ぐ4位だったが、11年には2位に順位を上げた。「12年も引き続き投資の拡大が見込まれる」(BPKM日本事務所)という。

危機後の経済改革が奏功している(同)。財政健全化を進めたうえ、内需振興など経済基盤を強化し、08年のリーマンショックにも耐え、足元の欧州危機にも影響を受けずにすんでいる。

クルマ 100万台の大台

KITO

安全と効率化のための
きめ細やかなサービスと
信頼のメンテナンスを
ご提供いたします。



製品の販売、設計・設置工事からアフターサービス、さらに製品の操作指導や作業環境の改善など
ホスト&クレーンの専門メーカーキトーが一貫してご提供いたします。
インドネシアで頼れるパートナーとして「PT. KITO INDONESIA」に全てお任せください。

真技術心と

ホスト&クレーンの専門メーカー株式会社キトーは、インドネシアに現地法人「PT. KITO INDONESIA」を設立いたしました。

PT. KITO INDONESIA Wisma Kejai 5F, Jl. Jend. Sudirman Kav.3-4, Jakarta 10220 TEL: 021-572-4261 FAX: 021-572-4267 E-mail: sales@id.kito.com

